週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
©2010 Amusement Press Japan Inc.
editing & publishing／Amusement Press Japan
planning & production／Amusement Promotion
／Up Grade　printing／Four Plus One
本紙記事の無断転載を禁じます。

HEAD LINE 今週号発行部数19,000部（全国のホール＆業界関連組織・企業）にお送りしています。

2面 新機種紹介
パチンコ『CRトムとジェリー』Daiichi
『CRジャンボRUSH H-K／H3-KG』ニューギン
『CR大シャカRUSH G』マルホン工業
パチスロ『ワニワニパニック～キミのハートをワニづかみ～』Daiichi
『パチスロ「ケロット」～スウィートver.～』山佐
●「CR豪血寺一族」プレス発表会　西陣
●テレビCMで優秀賞 受賞　ABC
●カンボジアに校舎寄贈　岩下兄弟

3面
●ライトでPOPなビュンビュン系登場　Daiichi
●HALL REPORT『パチンコ西武2』
●アルカリイオン水で会員限定サービス開始　OSGコーポレーション

4面
●『ECO即』運用スタート　ニューギン

2010年（平成22年）8月30日　月曜日　第241号（毎週1回発行）
APJ
本新聞はヤマト運輸(株)に委託して、ポスト投函方式でお届けしています。（郵便物ではありません）
パチンコ・パチスロ業界最新情報
週刊アミューズメントジャパン
Weekly Amusement Japan
2010年 8月30日（月曜日）
編集・発行所　株式会社アミューズメント プレス ジャパン　〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-21-10 えびすアシスト5F　TEL 03-5447-0555　http://www.amusement-japan.co.jp

お盆営業分析　業績低迷脱せず

パチスロ営業がカバー

休日の分散化、高速道路の土日1000円など、ホール営業にとって好材料が見られなかった今年のお盆営業。ダイコク電機のDK-SISデータを見ると、全体業績は昨年同様に低水準が続いている。ホール関係者へ行ったアンケートでは、全体の稼働は通常営業とそれほど変わらなかったという声がある一方、多くのホールでパチスロの業績向上に手応えを感じていることが分かった。

1円貸し拡大も稼働は減少に

ダイコク電機のDK-SISデータによれば、今年のお盆営業を昨年と比較すると、パチンコ・パチスロを含めた全体業績において稼働時間は横ばい、売上と粗利は微減となった。

ダイコク電機・DK-SISコンサルタントチームの山岸義幸氏は、全体業績は昨年とほぼ同水準を維持しているが、これは決して明るい兆候ではないと指摘する。

「昨年のお盆営業は非常に業績が悪かった。特に稼働は過去最低を記録した。1円パチンコの台数シェアが、昨年のお盆営業時の14%から、今年は21%と7ポイントも増加したので、多少なりとも稼働は回復するのではないかと期待していたが、まったく上向いていない。当然ながら売上、粗利ダウンも避けられなかった」

本紙がホール関係者へのアンケートで聞いた結果でも、「4円パチンコを減台し、1円パチンコを増台した結果、高稼働をキープできたが粗利は以前と比べてドがついている」など、低玉貸しが稼働アップに貢献したものの、粗利の低下は否めないという声が見られた。

パチンコ・パチスロそれぞれの業績を見ると、パチスロはアウト、売上、粗利と全ての項目で昨年の数字を上回った。一方、パチンコはアウト、売上、粗利と全ての項目で昨年の数字を下回った。パチンコのダウンをパチスロが補ったため、全体の業績は昨年とほぼ同じ数値となった。

パチスロ業績は機種構成で明暗

パチスロの業績がアップしている理由として、パチスロファンの支持が高い『新鬼武者』『蒼天の拳』などのARTタイプが主軸機となるまでに成長したことが挙げられる。

「主軸機として活躍しているパチスロは、長期稼働している機種が多い。お盆商戦用に導入した新機種は『ギラギラ爺サマ1』と『悪魔城ドラキュラII』くらいなので、パチンコに比べ機械代を掛けずに業績をアップすることができたのでは」（山岸氏）

ホールへのアンケートで、今年のお盆営業はGW営業からどう変化したかを聞いたところ、5割近くのホールがパチスロの稼働は「良くなった」「良くなった」+「やや良くなった」と回答していた。

「粗利についても、4割のホールが「良くなった」と回答していることから、パチスロの業績回復の手応えを感じているホールが多いことが分かる。

「良くなった」理由を見ると、稼働・粗利ともに「営業の柱となるART機の稼働が安定している」「稼働が見込める機種が増えてきた」といった意見が目につく。一方、「悪くなった」理由では、稼働・粗利で「ART機の積極的な導入を見送ったため」「自店では導入しなかった新台を競合店が大量導入したため」といったように、導入戦略に失敗したことが理由として挙がっている。ファンの支持が高いART機をどれだけ導入できているかが、お盆のパチスロ営業の明暗を分けたと言えそうだ。

粗利が「悪くなった」理由として「稼働を確保するため、甘めに運用した」「粗利の目標値を下げた」というように、盛り上がりつつあるパチスロ人気を定着させるために、薄利で営業を行ったことを挙げるホールもある。

山岸氏は、コイン粗利、時間粗利が昨年と変わらなかったのは、高めの設定を入れられる状況になったからだと推測する。

「ここ最近のパチスロ導入状況を見ると、1機種当たりの導入台数は増えている。1機種当たり4、5台導入した結果、低設定から高設定まで活用の幅が広がったことで、結果的に時間粗利の上昇が抑えられた形となったのだろう」

お盆営業は粗利確保が基本

本紙のアンケートでは、通常営業に比べてお盆営業の粗利をどう設定したかを聞いている。その結果、「高くした」「やや高くした」+「やや高くした」が半数を占めている。

ダイコク電機の山岸氏は、1年を通して粗利を確保できる期間は限られているとし、お盆営業はもはや特別な期間ではなくなりつつある。しかし、山岸氏が指摘するように、お盆はGWや正月と並んで粗利を確保できる時期。繁忙期であっても、適正なホール営業を行なっていく必要がある」というホールの意見もあるように、自店にとっての適正な粗利を見極めていくことが求められそうだ。

「休日の分散化が進み、お盆の客数は通常の土日並みにまで下がっている」「ここ年以上、お盆やGWでの集客減が続いている」というホールの意見があるように、お盆営業長を下支えする格好となった。

しかし、パチンコ機市場も単純に好調とは言えない状況だ。販売台数は前年度比で減少。市場規模の拡大は、販売価格の高騰に依存しているからだ。

矢野経済研究所の秋山大介氏は、「大型版権の使用や画像容量の増大、可動役物の大型化・複雑化などもあり、遊技機1台当たりの販売価格は上昇している。ホールの業況は厳しさを増しているため、購入する新機種は厳選化の傾向にあり、パチンコは今後さらに販売台数が減少するのではないか」とし、パチスロ増台のトレンドと相まって、2010年度のパチンコの新台販売台数は300万台を割るレベルにまで落ち込むものではないかと予測する。

09年度のパチスロ機市場は、販売額、販売台数ともに前年度より減少したが、『交響詩篇エウレカセブン』が登場した昨年秋あたりから業績が緩やかに好転。今年に入ってからは、『新鬼武者』『蒼天の拳』といったヒット機が登場したことで回復基調にある。

「一部のホールではパチスロを増台している。ARTタイプなどゲーム性の高い機種は、1タイトルあたりの販売台数も伸びている。大幅な販売台数増は見込めないが、2010年度の市場規模、販売台数が増加に転じる可能性は高い」

周辺機器市場は前年度比98.2%と微減となったが、前述したようにパチスロ増台の影響から、台間メダル貸し機の業績も向上し、前年度比130.2%増と大幅な伸びとなった。

秋山氏は「一部メーカーでは、これまで在庫として抱えていたプリペイドカード非対応のメダルサンドがかなり売れたとこ数年の状況からすれば、回復という。ホールとしてみれば少しでも低コストでパチスロを増台したいので、機能が充実していなくても問題ないということなのだろう」と分析する。

取扱企業が増加した各台計数システムは、全額ベースの市場規模を把握するまでには至っていないが、部分導入を含め導入店舗数は順調に伸びているという。

「長らく画期的な新製品が登場しなかった周辺機器において、久々に期待できる製品。09年度中には1100店舗に達し、今年6月までに1300店舗弱にまで導入が進んでいる。部分導入も含めれば、10年度中には2000店舗の突破もあり得るのではないか」

このほか、今年春に呼出しランプの需要が集中し108.8%増となった。

懸念材料しか見当たらなかった

DK-SIS

全データ比較（日毎）

	稼働時間		売上		粗利		時間粗利	
	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年
8月10日	4.9H	4.6H	25,700円	23,900円	3,910円	3,480円	800円	760円
8月11日	4.8H	4.9H	25,400円	25,200円	3,930円	3,800円	820円	780円
8月12日	4.9H	5.1H	25,900円	26,600円	4,210円	4,580円	860円	900円
8月13日	5.2H	5.5H	27,000円	28,500円	5,090円	5,590円	980円	1,020円
8月14日	5.7H	5.5H	29,700円	28,300円	6,290円	6,030円	1,100円	1,100円
8月15日	5.7H	5.6H	29,700円	28,600円	6,350円	5,960円	1,110円	1,060円
8月16日	5.8H	5.8H	29,900円	30,000円	6,420円	5,640円	1,110円	970円
期間平均	5.3H	5.3H	27,600円	27,300円	5,170円	5,010円	980円	950円

パチンコ　2009～2010年データ比較（日毎）

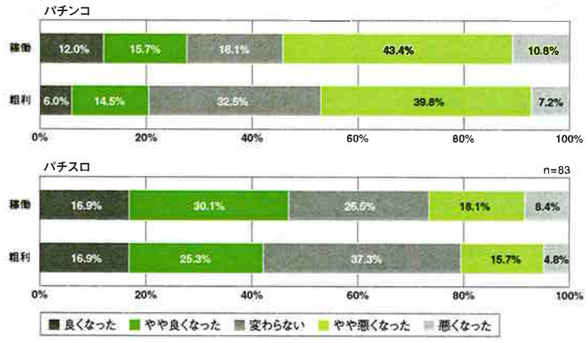
	アウト		売上		粗利		玉粗利		時間粗利	
	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年
8月10日	24,800個	22,000個	27,600円	24,300円	4,100円	3,490円	0.17円	0.16円	830円	790円
8月11日	24,400個	23,500個	27,200円	25,500円	4,170円	3,820円	0.17円	0.16円	850円	810円
8月12日	25,000個	24,700個	27,800円	26,900円	4,410円	4,550円	0.18円	0.18円	880円	920円
8月13日	26,400個	26,800個	28,900円	28,900円	5,310円	5,620円	0.20円	0.21円	1,010円	1,050円
8月14日	29,000個	27,100個	32,100円	29,000円	6,670円	6,010円	0.23円	0.22円	1,150円	1,110円
8月15日	29,500個	27,400個	32,100円	29,200円	6,770円	6,030円	0.23円	0.22円	1,150円	1,100円
8月16日	29,600個	28,700個	32,400円	30,800円	6,880円	5,800円	0.23円	0.20円	1,160円	1010円
期間平均	27,000個	25,700個	29,700円	27,800円	5,470円	5,050円	0.20円	0.20円	1,010円	980円

パチスロ　2009～2010年データ比較（日毎）

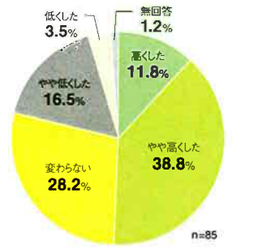
	アウト		売上		粗利		コイン粗利		時間粗利	
	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年	2009年	2010年
8月10日	9,300枚	9,800枚	21,000円	23,300円	3,410円	3,470円	0.37円	0.36円	730円	710円
8月11日	9,200枚	10,600枚	20,900円	24,700円	3,340円	3,800円	0.37円	0.36円	730円	720円
8月12日	9,400枚	11,000枚	21,300円	25,800円	3,730円	4,700円	0.40円	0.43円	790円	850円
8月13日	9,900枚	11,700枚	22,200円	27,400円	4,560円	5,560円	0.46円	0.48円	920円	950円
8月14日	10,400枚	11,300枚	23,600円	26,600円	5,320円	6,000円	0.51円	0.53円	1,020円	1,060円
8月15日	10,500枚	11,600枚	23,400円	26,800円	5,170円	5,750円	0.49円	0.50円	980円	990円
8月16日	10,400枚	12,100枚	23,300円	27,800円	5,160円	5,250円	0.50円	0.44円	990円	870円
期間平均	9,900枚	11,200枚	22,200円	26,100円	4,380円	4,930円	0.44円	0.44円	880円	880円

AJアンケート

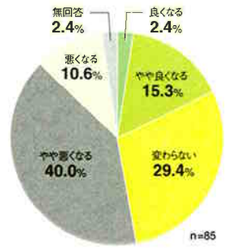
Q1 今年のお盆営業は、GW営業からどう変化したか



Q2 今年のお盆営業は、通常営業に比べ粗利設定をどうしたか



Q3 今年のお盆営業の状況を見て、年内の自店の業績はどうなると予測するか



P機市場全体を下支え

矢野経済研究所09年度パチンコ関連機器市場規模発表

パチスロ業績回復 メダル貸し機 需要増

矢野経済研究所は7月30日、『2010年版パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア』を発刊。調査結果の概要を発表した。同書では、09年度はパチンコ機市場の拡大が市場全体を下支えしたが、後半はパチスロ機市場も回復基調となり、それに伴い、台間メダル貸し機の需要が高まったことなどを指摘。各台計数システムが順調に伸びているとしている。

市場規模1兆3654億円に増

2009年度のパチンコ関連機器市場規模は1兆3654億円で、前年度比102.7%、354億円の増加とし、わずかではあるがプラス成長となった。パチスロ機市場、周辺機器市場はともに市場規模の縮小が続いたが、パチンコ市場の拡大が市場全体の成長を下支えする格好となった。

しかし、パチンコ機市場は1兆3654億円で、前年度比102.7%、354億円の増加とし、わずかではあるがプラス成長となった。パチスロ機市場、周辺機器市場はともに市場規模の縮小が続いたが、パチンコ市場の拡大が市場全体の成長を下支えする格好となった。

しかし、パチンコ機市場も単純に好調とは言えない状況だ。販売台数は前年度比で減少。市場規模の拡大は、販売価格の高騰に依存しているからだ。

矢野経済研究所の秋山大介氏は、「大型版権の使用や画像容量の増大、可動役物の大型化・複雑化などもあり、遊技機1台当たりの販売価格は上昇している。ホールの業況は厳しさを増しているため、購入する新機種は厳選化の傾向にあり、パチンコは今後さらに販売台数が減少するのではないか」とし、パチスロ増台のトレンドと相まって、2010年度のパチンコの新台販売台数は300万台を割るレベルにまで落ち込むものではないかと予測する。

09年度のパチスロ機市場は、販売額、販売台数ともに前年度より減少したが、『交響詩篇エウレカセブン』が登場した昨年秋あたりから業績が緩やかに好転。今年に入ってからは、『新鬼武者』『蒼天の拳』といったヒット機が登場したことで回復基調にある。

「一部のホールではパチスロを増台している。ARTタイプなどゲーム性の高い機種は、1タイトルあたりの販売台数も伸びている。大幅な販売台数増は見込めないが、2010年度の市場規模、販売台数が増加に転じる可能性は高い」

周辺機器市場は前年度比98.2%と微減となったが、前述したようにパチスロ増台の影響から、台間メダル貸し機の業績も向上し、前年度比130.2%増と大幅な伸びとなった。

秋山氏は「一部メーカーでは、これまで在庫として抱えていたプリペイドカード非対応のメダルサンドがかなり売れたとこ数年の状況からすれば、回復という。ホールとしてみれば少しでも低コストでパチスロを増台したいので、機能が充実していなくても問題ないということなのだろう」と分析する。

取扱企業が増加した各台計数システムは、全額ベースの市場規模を把握するまでには至っていないが、部分導入を含め導入店舗数は順調に伸びているという。

「長らく画期的な新製品が登場しなかった周辺機器において、久々に期待できる製品。09年度中には1100店舗に達し、今年6月までに1300店舗弱にまで導入が進んでいる。部分導入も含めれば、10年度中には2000店舗の突破もあり得るのではないか」

このほか、今年春に呼出しランプの需要が集中し108.8%増となった。

懸念材料しか見当たらなかった

兆しとは言えないまでも底を打った感があるが、依然としてホール経営を取り巻く環境は厳しい。

「周辺設備機器の市場規模は今後しばらく『縮小均衡状態』が続くだろう」（秋山氏）

調査概要

調査期間：2010年5月～7月
調査対象品目：遊技機、周辺設備機器
調査対象企業：遊技機メーカー、周辺設備機器メーカー等
調査方法：矢野経済研究所の専門研究員による直接面談や電話・e-mailによるヒアリング、文献調査

資料体裁

「2010年版パチンコ関連メーカーの動向とマーケットシェア」発刊
発刊日：7月30日　体裁：B5判　504頁
定価：110,250円（消費税込み）
問い合わせ先：矢野経済研究所　サービス産業事業部
TEL.03-5371-6923　E-mail：dakiyama@yano.co.jp

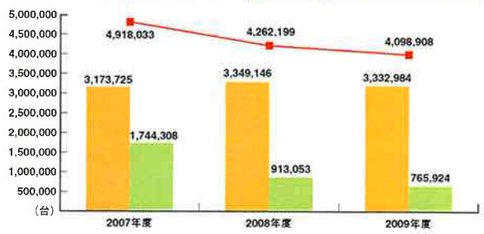
パチンコ関連機器の市場規模推移

注1:メーカー売上ベース　注2:カテゴリの追加により過去に遡って市場規模を修正した

遊技機市場規模（新台販売額）の推移

注3:メーカー売上ベース

遊技機販売台数（新台販売台数）の推移



注4:メーカー出荷ベース

東京商工リサーチ

ホール企業倒産件数・負債総額 前年比では依然 低水準

2010年1月～7月　主なホール企業の倒産

集計年月	商号	所在地	負債総額（百万円）	資本金（千円）	倒産原因	倒産形態
2010/01	小川開発㈱	石川県	5,000	50,000	販売不振	銀行取引停止
2010/01	㈲ビーアクセス	静岡県	1,000	30,000	販売不振	民事再生法
2010/01	㈱ジーエル	静岡県	1,000	10,000	販売不振	民事再生法
2010/01	エル・ケイ産業㈱	静岡県	1,000	30,000	販売不振	民事再生法
2010/05	㈱雅幸	福岡県	900	10,000	既往のシワ寄せ	銀行取引停止
2010/06	㈲大山企画	東京都	1,700	3,000	他社倒産の余波	破産
2010/07	正村商会㈱	愛知県	1,165	85,900	販売不振	銀行取引停止
2010/07	㈱オリオン観光	愛知県	500	10,000	販売不振	銀行取引停止

ホール企業の倒産件数と負債総額（月別）

2007年	件数	負債総額（百万円）	2008年	件数	負債総額（百万円）	2009年	件数	負債総額（百万円）	2010年	件数	負債総額（百万円）
1月	9	5,329	1月	10	13,070	1月	3	1,319	1月	7	8,300
2月	11	13,895	2月	11	1,621	2月	4	9,365	2月	2	909
3月	17	23,070	3月	8	5,765	3月	6	1,780	3月	2	340
4月	6	64,600	4月	12	10,380	4月	7	6,645	4月	1	200
5月	12	5,839	5月	9	1,707	5月	4	1,290	5月	2	1,100
6月	10	16,023	6月	3	1,650	6月	7	3,108	6月	3	3,500
7月	13	22,695	7月	12	11,014	7月	1	800	7月	3	1,685
8月	13	11,360	8月	5	2,980	8月	3	1,100			
9月	17	4,210	9月	9	10,879	9月	3	490			
10月	11	4,751	10月	11	18,320	10月	2	536			
11月	9	4,465	11月	5	1,300	11月	2	1,000			
12月	16	27,690	12月	8	4,580	12月	4	748			
合計	144	203,927	合計	103	83,266	合計	46	28,181	合計	20	16,034